

# 11/1帰国孤児・篠原禮子さんの体験を聞く会

貴重な戦争体験を伺いましょう！



戦後80周年企画

大学受験パーソナルラボLEAD

# Time Table

---

15:00 開会：岩崎

｜ 「お話を伺うための知っておきたい歴史について（引き揚げ?）」

15:15

｜ 篠原さんのお話

16:15

｜ 質疑応答 & 感想など

16:45

｜ まとめ

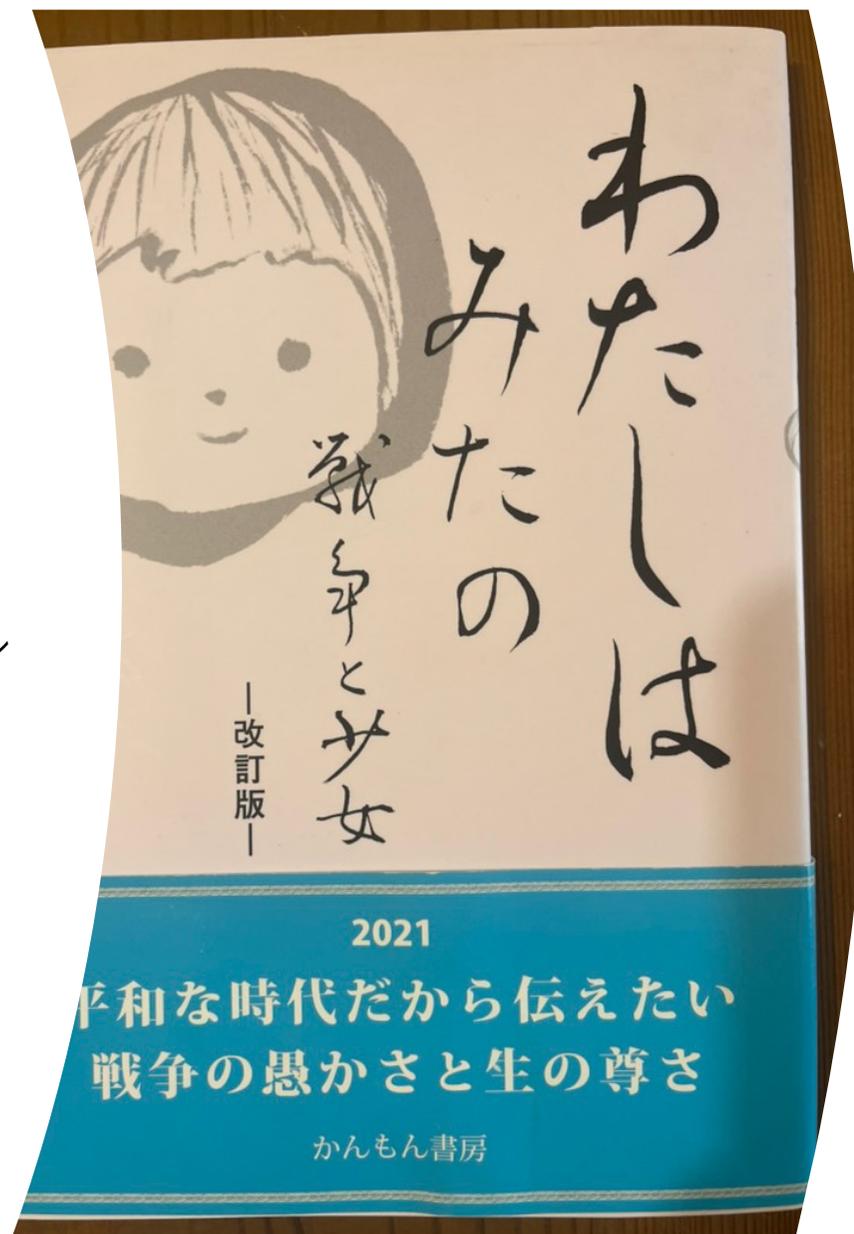
16:50 終了

本企画は、  
篠原直生君の提案で  
始まりました

---



# 篠原さんの プロフィール



1936/6月 京城（現ソウル）で生まれる

1943/4月 会寧小学校入学

1945/8月 敗戦—引き揚げ始まる

1946/3月 博多港へ帰国。  
父の実家徳島に引き取られる。

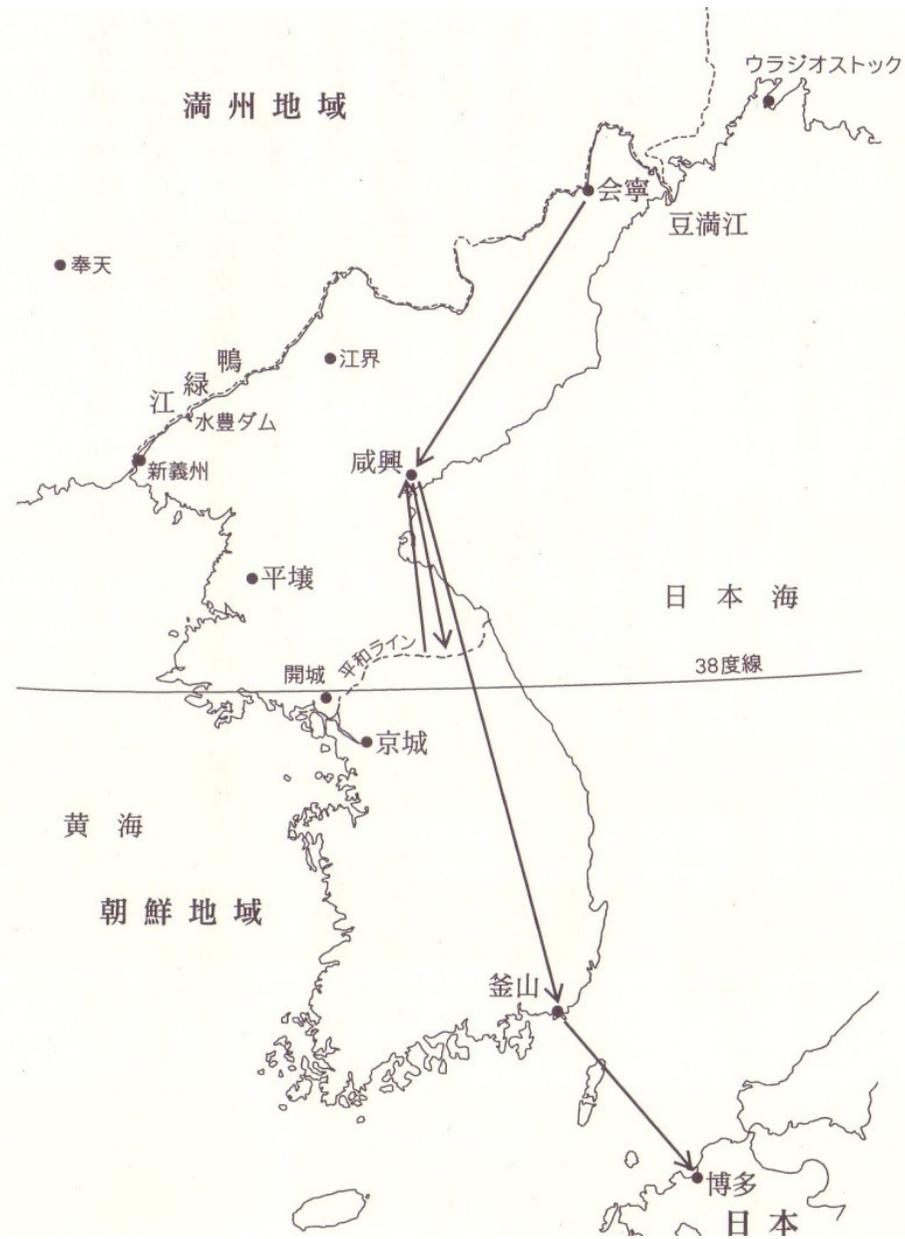
1957/3月 徳島大卒業

1957/4月 東大阪市立小学校勤務

1997/3月 退職

\* 教職時代から平和教育の講演活動などに取り組まれました

\* 著書「わたしはみたの」  
(2004年出版、2021年改訂版)



# 引き揚げとは？

引き揚げ（民間人）が約3,180,000人、  
復員者（軍人・軍属）が約3,100,000人、  
合わせて約6,290,000人

1945年の敗戦以降に海外から日本に引き揚げ・復員した人数を国別でまとめた一覧を以下に示します。数字は厚生労働省など公的資料・研究論文の推計値に基づきます。

国・地域	引き揚げ者 (民間人) 数	復員者(軍人・ 軍属) 数	合計(人)	備考
満州(中国東北)	約1,000,000	約670,000	約1,670,000	開拓団が多く帰国、 ソ連抑留なども
中国本土	約500,000	約1,120,000	約1,620,000	軍人は最も多い地域の一つ
朝鮮半島	約420,000	約300,000	約720,000	大部分が引き揚げ、 1946年までに多く帰国
台湾	約320,000	不明	約320,000	主に民間人引き揚げ
フィリピン	数千人～ 1万人程度	数万～ 数十万人規模	約数十万人規模	南方戦線の復員多数
南洋群島	約20,000	不明	約20,000	パラオ・ヤップ・ トラックなど多数
その他東南アジア	不明	数十万人規模	不明	東南アジアからの復員多数 [注: フィリピン含む広域]

## 引き揚げ・復員 過程での悲劇

- ・ シベリア抑留：ソ連  
～「ラーゲリーにて」 約575,000人、  
約473,000人帰還、死亡約55,000人
- ・ 残留孤児：満州、フィリピンなど各地に  
～「大地の子」 満州:3000人、  
北朝鮮3300人、フィリピン3800人
- ・ 外国軍などによる 暴行・略奪//戦争に巻き込まれ
- ・ 帰国孤児  
～「わたしはみたの」

シベリア抑留以外の終戦後の引き揚げ・復員の過程で亡くなった日本人の総数は約55,000人から60,000人。  
その中で朝鮮からの帰国者の死者は約35,000人と推計されている。



では、なぜ外国に  
これほど日本人がいたのか？

☆マクロな国家的な観点で考えてみます。

☆ミクロな個人の事情は、個人・家族の事情。

---

# 植民地支配と侵略戦争の歴史的結果

1895 日清戦争→台湾植民地

1910 日露戦争→朝鮮植民地

1919 第1次世界大戦→南洋諸島信託統治（実質植民地）

1931 満州事変→満州国（実質植民地）～開拓団

1937 日中戦争→中国の各地・都市の占領

1941 第2次世界大戦：アジア・太平洋戦争：

東南アジア・太平洋諸地域の占領

1945 敗戦

【死者数】

日本310万人、アジア2000万人、



アジア州

ロシア

アメリカ

北ア

北太平洋

中華人民共和国

日本

インド洋

ウズベキスタン

モンゴル

キルギス

タジキスタン

朝鮮民主主義  
人民共和国

大韓民国

ブータン

ラオス

インド

ネパール

タイ

ベトナム

フィリピン

ミャンマー

ブルネイ

マレーシア

パラオ

マーシャル諸島  
ミクロネシア連邦

キリバス

ナウル

スリランカ

カンボジア

インドネシア

パプア・  
ニューギニア

ソロモン諸島

ツバル

東ティモール

バヌアツ

サモア

# 朝鮮植民地 支配の犠牲

☆朝鮮の人々から、国家主権・文化・土地・資源・労働力を奪った植民地支配（日帝強占）。直接の軍官憲による犠牲者だけを以下に。

## 1) 江華島事件（1875年）

日本軍艦雲揚号と朝鮮の江華島砲台が交戦。  
朝鮮側の死者は約35名、  
日本側は負傷者2名（うち1名死亡）。

## 2) 日清戦争・甲午農民戦争（1894年）

甲午農民戦争の犠牲者は約1万3,000人、  
日清戦争全体の死者は約1万7,800人。



3) 日清戦争後～1910年の義兵闘争

義兵の死者は約1万6,700人、  
負傷者約3万6,700人と推計。

4) 1910年～1918年の抵抗闘争

個別詳細は少ないが、  
多数の死傷者が出ているとみられる。

5) 3・1独立運動（1919年）

朝鮮側推計で死者約7,500人、  
負傷者約1万6,000人。  
日本側の公式発表は死者357人、  
負傷者802人だが過小評価の指摘あり。



西大門刑務所



6) 3・1運動後～1939年までの抵抗闘争

抵抗運動は断続的に続き、昭和初期までに数千人の死傷者が出ていると推定。

7) 関東大震災での虐殺

- ・ 司法省報告：朝鮮人犠牲者233人、内務省：248人、朝鮮総督府東京出張員の推計：約813人。
- ・ 朝鮮人留学生らが組織した「在日本関東地方罹災朝鮮同胞慰問班」の調査報告：被害者数2613人  
上海の大韓民国臨時政府機関紙「独立新聞」：6,661人、  
横浜だけで15,000人。

8) 1945年までの戦時体制で徴用

徴用された約72万人の朝鮮人労働者のうち6万人が死亡したとする推計もある。

# 朝鮮における敗戦時の状況

---

8/14 日本政府、連合国にポツダム宣言（無条件降伏）受諾通知

8/15 天皇、玉音放送

朝鮮総督府の統治が崩壊＝朝鮮の人々には＜光復＞（解放）

現地の日本人には国が消滅＝引き揚げの始まり！

8/16 建国宣言（建国準備委員会）

8/24 ソ連軍、平壤に入場。48年まで北側に軍政。

9/6 朝鮮人民共和国、宣言。

9/8 米軍、仁川上陸。48年まで南側に軍政。独立政府を認めず。

ソ連軍を歓迎する平壤市民



終戦時、  
日本にいた  
朝鮮の人々

---

## 230万人

---

\* 韓国併合以降に土地を奪われるなどで、仕事に来た人

---

\* 戦時の徴用令で、働かされていた人

---

↓

---

\* 帰国した人：150万人（日本にリターンした人たちも）

---

\* 生活基盤がなく、日本に残った人 = 在日Korea

篠原禮子さんの  
貴重な体験を伺いましょう！

今日のお話を伺い、  
どのように感じられましたか？

## まとめ

---

☆植民地支配や戦争は、その国民も、

---

大変な被害に遭うことは実感できましたか

---

---

最後に覚えておいてください



過去に目を閉ざす者は  
現在にも盲目となる

・ ワイツゼッカー西ドイツ大統領の演説（1985年5月8日）より



非人間性を記憶しない者は、  
新たな危険にまた感染する  
でしょう。



「昔の悲劇」ではなく、「今をどう生きるか」の問いとして

\* 現在も続く戦争：ウクライナ、パレスチナ

\* 東アジアの情勢：中国、北朝鮮、ロシア  
～防衛予算の大幅増額（増税）

☆戦争がない時にこそ、「戦争とは何か」を過去に学び、どうすれば、戦争のない世を作って、誰しものが平和な日常を送れるようにしていけるかを考えていくきっかけになれば幸いです。

# 歴史に学ぼう！

---

☆歴史をしっかりと学び、

---

平和・命の大切さを肝に銘じていきたいと思います。

---

☆「同じ人種と隣国から搾取する者は、最後に孤立して悩むことになるだろう」（安重根「東洋平和論」）

---

2025年：戦後80年

戦後を

新たな戦前にしないために  
今日の貴重な体験談を  
未来に活かしていきましょう！

エンディング  
グテーマ

---



一本の鉛筆